

女性委員会だより



社団法人 岐阜県建築士会 〒500-8076 岐阜市司町1番地岐
総合庁舎3階〈電話〉(058) 266-5786 〈FAX〉(058) 266-6867

■ はじめに

■ 女性委員長を終えて

前委員長 下川滝美

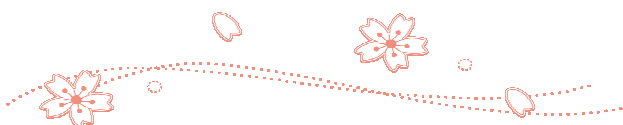
皆さん2年間ありがとうございました。
女性委員としての経験も浅く、順番ではもう少し後で委員長を受けるのが本来でしたが諸々の理由で早くに委員長を経験させていただきました。

行き届かない点多々あり皆様には頼りない委員長でしたが津川さんから引き継いで2年経ちました。浅田真央ちゃんではないですが長いような、短いようなあつという間だったような気がします。女性委員会設立20周年記念事業が大きな事業でした。

これから開催される平成23年2月末に予定されている高山での後期ブロック大会の開催準備で気楽にらくだ会を高山で開催したことも思い出の一つです。

研修会の企画、20周年記念誌、機関誌らくだのIT化など委員の皆さんに支えられながら出来た事業です。

ほんとうにありがとうございました。
はい！飯沼さん、バトンタッチですよ。皆さんがついてくれるので大丈夫です。



■ ご挨拶

新委員長 飯沼あい子

この度、女性委員長に就任させていただきました。
前任者の下川様で若返り、活動が活発になりましたところで交代させていただき責任を感じております。以前「50代の女性が元気になると日本が変わる」というCMがありました。その言葉をつぶやきながら勤めさせていただこうと思っています。

今年度は後期ブロック大会の開催県・発表県・ブロック委員長及び事務局担当県と活動が山積しています。幸いなことに、前年度より委員の方々には積極的に動き始めていただいておりますが、今年度も引き続きよろしく願いたいします。

又、今まで諸事情で委員会活動を控えておられた皆様にも、見学会や研修会など楽しい事も企画しますので、できる範囲で参加していただければ有難く思います。皆様どうぞよろしくお願い致します。

■ 今回の記事

- はじめに(新旧委員長あいさつ)
- 今後の予定・お知らせ
- 佐川美術館とウォーリズ建築見学会 報告 (H21, 11, 13)
- 各務原市内見学会 報告(H21, 12, 4)
- 第9気楽にらくだ会in高山 報告(22, 1, 16)
- 東海北陸ブロック会 後期 福井県若狭大会 (H22, 2, 27~28)
- 研修会(講演会)サクラヒルズにて(H22, 3, 25)
- 運営委員長に就任するにあたって
- 編集後記

■ 今後の予定・お知らせ

- ◆ 建築士会総会
日時:平成22年5月21日(金)
- ◆ 東海北陸ブロック前期 石川大会
日時:平成22年6月26日(土)
会場:石川県金沢市
- ◆ 東海全国女性建築士連絡協議会(東京大会)
日時:平成22年7月16日(金)~17日(土)
会場:建築会館



委員会だより

■ 佐川美術館とウォーリス建築見学会

報告

(岐阜インテリアコーディネータークラブ協賛)

日時:平成21年11月13日(金)

見学場所:佐川美術館

(〒524-0102 滋賀県守山市水保町 北川2891

電話 077-585-7800)

:ウォーリス建築 (近江八幡市内)

参加者 19名



美術館玄関前にて集合写真

■ 佐川美術館とウォーリス建築見学会に参加して

長尾則子

11月13日(金)朝8時、JR岐阜駅じゅうろくプラザ前からバスに乗って出発。参加者は女性委員、建築士会の男性、岐阜インテリアコーディネーターの方々の計19名。

最初に訪れたのが佐川美術館。美術館を取り囲んで広大な水庭が静かに美しく広がります。奥にある入り口まで、深い庇の下、等間隔で並ぶ柱の横を、水庭を眺めながら歩いていきます。通路のすぐ脇に床と同じ高さの水面が迫っています。中に入ると2チームに分かれ茶室見学。窓のない長く暗い路(Ro)を歩いて、寄付(Yoritsuki)を経て、丸く切り取られた空だけが見える水路地(Mizuroji)。ここで急に明るくなって、光と風と水だけ、音のない世界。これが空(Kuu)だなあという心境。広間では床の間を背に畳に座り、目前に広がる水と風に揺れる黄金の葦。天井の煤竹のまっすぐ伸びる深い

庇の下、間にある特殊ガラスの存在に皆で驚きながら、あっという間。建物の空間を構成する、ジンバブエから切り出した黒い石に地球の古代の息吹を、古い枕木に朽ち果てていく時の流れを、木の肌模様のコンクリート打ち放しに斬新さを感じました。ここでは日常の雑事から離れ、気持ちのよい時間を過ごすことができました。

次に近江八幡市に移動。ウィリアム・メルル・ヴォーリスの建築を見学。再生中の旧八幡郵便局内で一粒の会の代表者の楽しいお話に大変引き込まれ、ヴォーリスの誠実な人柄や建築に対する考え方、近江八幡を愛する強い心に感銘を受けました。

その後アンドリュース記念館、旧岩瀬邸、ヴォーリス記念館と市内の町並みを散策しながらゆっくり見学。最後に美しい八幡堀を渡って、クラブハリエで行列するくらい有名なバームクーヘンを初購入。

あいにく小雨降るお天気でしたが日中はそれほど寒くもなく無事に終わり秋の貴重な一日となりました。

私にとって初めて訪れるところばかりで見ると聞くものすべて興味津々で内容の濃い大変充実した研修になりました。何ヶ月も前から企画準備手配にいたるまですべて行ってくださった津川さんはじめ関係者の皆様に深く感謝します。ありがとうございました。



昼食風景



旧八幡郵便局内にて説明を受ける



委員会だより

■ 各務原見学会報告

日 時 平成21年12月4日(金)

見学場所 各務原市内

参加者 6名



学びの森にて昼食

■ 各務原市内見学会の報告

津川文江

各務原市は平成22年3月で各務原市の10年計画「各務原市新総合計画」が完了します。

この計画は、「元気な各務原市—公園都市・快適産業都市・共生都市」としています。

「瞑想の森・市営斎場」「学びの森」又、学びの森の北側には、中部学院大学を誘致し、空中歩道を備えた鶴沼駅周辺の整備 川島地区のヘドロ沼から自然環境を生かした「河跡湖公園」オープンなどがあります。

各務原市のまちづくりは、平成17年 緑の都市賞・内閣総理大臣賞受賞 平成20年日本都市計画学会賞・日本まちづくり大賞 平成21年には、住みよい都市づくり国際コンクール銀賞・世界第3位受賞 国内外からも高い評価を受けております。

10時に各務原イオンショッピングセンターに集合して見学会を行いました。

旗本徳山陣屋公園

(各務原市那加西市場3丁目117番地の1)

平成12年に実施された発掘調査を基に江戸期陣屋風景を再現した公園で、屋敷の間取りはデッキと植栽(エゴノキや梅)により縮小再現しました。ボランティアで、毎日、公園を清掃しているおじさんの家に招かれハーモニカの演奏と奥様の手作りのゴーヤの甘煮とかりんのジャムの試食をさせていただきました。



瞑想の森

(各務原市那加扇平2-5)

「静けさと自然に帰る」をコンセプトに公園墓地と一体で瞑想の森を整備した。市営斎場は、王立英国建築家協会ロイヤルゴールドメダルを受賞するなど世界的に注目されている伊東豊雄氏の設計にです。午前11時までなら内部も見学できます。



学びの森

(各務原市雲雀町10番4)

昼食 久々に、公園でおにぎりを食べ、ちょっとのんびりしました。気がつくと予定の時間を、かなり超過していました。



委員会だより

各務野自然遺産の森

(各務原市各務字車洞)

日本の美しい大自然と里山の再復興で この森には、貴重な植物や鳥、虫そして小動物が数多く生息しており、今ある自然環境を保全し、自然素材を多様した公園です。



河跡湖

(各務原市松原町)

昔の洪水の足跡ともいえるべきもので、当時にほぼ近い姿をとどめて今日まで残っており、きわめて貴重な遺跡といえます。

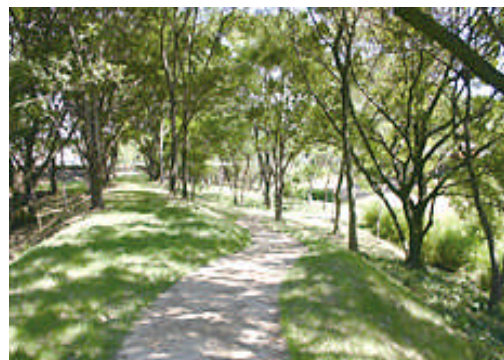
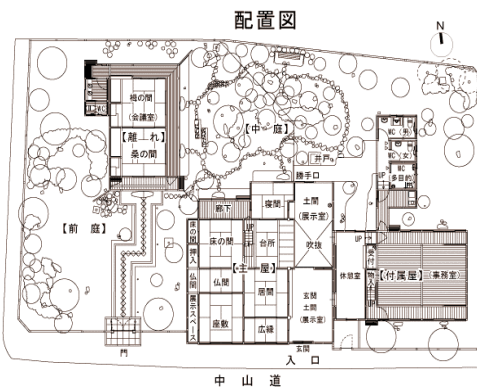
平成19年度から20年度にかけ、総面積約5ha、総延長約1.5kmに及ぶ河跡湖の自然環境の特性を生かし、川島の歴史と自然を後世に伝える拠点的な公園として整備されました。



鶯沼宿

(各務原市鶯沼西町1丁目116番3)

江戸時代の宿場町の面影を今に伝える中山道鶯沼宿の町並みを見学しました。



鶯沼駅

JR鶯沼駅に車を止め、トイレ見学
名鉄新鶯沼駅との空中歩道を見学しました。



短時間で、各務原市を見学しました。
各務原市に在住の私でも、なかなか時間を作って出かけることができません。今回の見学で、もっと町の様子を知ることができ、とても、住みやすい・元気な町に暮らしていることを実感しました。

駅の公衆トイレ



委員会だより

■ 第9回 気楽にらくだ会 in 高山

日時:平成22年1月16日(土)11時~16時

会場:ひとまちぷら座 かんかこかん 2階

高山市上二之町44-4 電話 0577-33-5055

参加者:19名

第一部 高山駅からかんかこかんへ移動

(バリアフリーのまちづくりを見学しながら移動)

第二部 昼食交流会

第三部 講演会「バリアフリーのまちづくり」

講師:高山市基盤整備部 都市整備課
浦谷公平氏

講師:高山市企画管理部 企画課
森 由貴氏

第四部 バリアフリーと古い町並み建物見学



陣屋前で集合写真

■ 気楽にらくだ会報告

河内美代子

素晴らしい絶好の見学会日和でした。前日は吹雪だったそうで、「何とみなさん、心がけがいいのでしょう」と飛騨支部の方々が言ってくださいました。でも除雪が間に合わないほどの雪の日々が続いた後だったので、道路には踏み固められた雪がいっぱいあり、滑りそうになりながらのそしてとても寒い街歩きではありました。しかし、おもてなしの心を前面に出した観光都市高山は歩いていても、楽しい心癒される街で、また白い雪と青空のコントラストはとても素敵でした。

駅に集合した後、飛騨支部の方々が一緒に説明しながら歩いてくれ、彼らも観光客のように歩くことは滅多に無いので新しい発見があると喜んでお付き合い

くださいました。歩きながら見学したバリアフリーのポイント箇所は雪国ならではの配慮もあったりしてなるほどと感心しきりでした。

まず駅前の道はロードヒーティングが施してあり、見事に雪がありませんでした。トイレには暖房設備もあり、トイレの絵表示も工夫されたものでした。また、昼食後に市役所の方が講師となって「バリアフリーのまちづくり」のテーマで講演して下さったのですが、観光案内やパンフレットは日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で作成するのが標準で、市のHPは実に11ヶ国語で表示されるそうです。まずは言葉のバリアフリー化ですね！

高山市のまちづくりの取り組みはバリアフリー、ユニバーサルデザインを基本に、使う人の立場に立ってフィードバックしながら進めて誰にもやさしいまちを実現しているとのこと。とりわけトイレや道路に工夫が見られ、高山おもてなしトイレの取り組み結果として公的民間合すると何と約130か所に車いす対応トイレがあるそうです。しかし歩車共存型道路の取り組みでは狭い既設の道路をうまく活かした素晴らしい提案なのですが、新たなバリアーとして利用者のマナー・モラルの問題も発生しているようです。

市独自のまちづくり条例を制定して意欲的に取り組んでいる福祉観光先進市の高山はこれからもさらに住みよいまち(=行ってみたいまち)になって行く心強く思いました。



側溝は雪を流す大事な役割



講演会風景



■ 東海北陸ブロック会 後期

女性建築士協議会 福井県若狭会議

開催日:平成22年2月27日(土)~28日(日)

開催場所:

会議 小浜市中央公民館

(福井県小浜市大手町 5-31

電話0770-53-1111)

閉会式 御食国若狭おばま食文化館 マリンデッキ

(福井 県小浜市川崎3丁目4番

電話0770-53-1000)

参加者:4名

【1日目】平成22年2月27日(土)

12:30 受付

13:30 開会式

13:55 分科会

第1分科会 (青年協議会担当)

地域実践活動発表

第2分科会 (女性協議会石川県担当)

「子育て世代バリアフリー」発表+ワークショップ

第3分科会 (福井県担当)

三丁町のまちなみ散策

15:30 会議

19:30 懇親会 各宿泊場所にて

【2日目】平成22年2月28日(日)

9:00 万徳寺見学+お箸作り体験

11:40 閉会式



閉会式にて青年と一緒に来年度後期ブロックを岐阜県高山市で開催することのPRをおこなう。

■ 平成21年度後期ブロック

若狭大会に参加して

飯沼あい子

2月27日 福井県小浜市で開催されました。

午後から始まった開会式の後、今回は女性協議会が第二分科会を担当する事になり今年は石川県の担当でした。

岐阜県は2名づつに分かれて第二分科会と第三分科会のまちなみ散策に参加し、その後女性は定例会議に出ました。ここでやっといつもの女性協議会だと実感しました。

その後は各県が割り当てられた民宿に移動し、そこで夕食(懇親会)が行われました。この何年か民宿には泊まった事がなかったため、不安?と期待が入り混じった複雑な思いで到着しましたが、想像を超えた綺麗な?部屋と新鮮な魚の料理にほっとしながら、堪能しました。部屋では修学旅行のように4人でわいわいとおしゃべりに花が咲き、一日目の夜が更けました。

2月28日 午前中は、萬徳寺の見学をしてから、箸匠せいわでお箸作りの体験をしました。と言っても始めから作るのではなく黒い塗り箸を機械のやすりに当てて削りながら模様を出していくものでした。しかし、初めての体験で結構楽しめました。

閉会式は、若狭おばま食文化館内のマリンデッキにて。要するに正面に海を見ながら、寒風吹きさらしの中での修行のようなひとときでした。青年たちは若いから良いでしょうが、女性は年齢層が厚いので...しかし、次回の岐阜(高山)大会のアピールもして無事終了しました。

今回参加して感じた事はまず、女性協議会からの事前の案内と実際の予定(時間・場所)が違っていた事。青年会とより連絡を密にする必要があると思いました。次に、各会場への移動の案内が無く、要するに各県で独自に行かねばならなかった事でした。幸いな事に私たちは青年の車に便乗させていただけたので有難かったです...

次回の岐阜開催時に参考になる事が多くありました。女性委員の皆様、ご協力をよろしくお願い致します。



■ 女性建築士協議会

平成21年度後期定例会議報告

下川滝美

例年のように各県女性委員会の活動報告からはじまりました。

岐阜県の昼食会議はどんな会議ですか？会議の曜日は決めているのですか？と質問を受けました。各県とも委員会の開催時間や開催日に悩んでいるようです。

連合会女性委員会の報告では図書「ニッポンの建築素材」についての紹介がありました。6月末までは定価2,000円のところ送料込で1,800円の特別価格で販売するという連絡がありました。

また22年度の全国女性建築士連絡協議会は発足20年目の節目ということで女性委員会のあるべき姿を全建女(東京大会)で示す年になるよう計画をされているということです。日時は平成22年7月16日～17日建築会館にて行われる予定です。

また前期定例会議(石川県)は女性協議会単独で開催されることになりました。日時は平成22年6月26日(土)、場所は石川四高記念文化交流館 復元教室他で行われます。

今後も前期会議は単独で開催することになりましたが各県無理のない範囲でやっていくという方針でまとめました。

後期定例会議は高山で開催です。

予算案では岐阜はブロック事業発表県と重なるために交通費が0円でしたが、岐阜と高山との距離を配慮していただいて特別に30,000円計上していただきました。

平成22年度からのブロック運営委員長には河内さんが承認されました。

飯沼さんは運営副委員長、宇佐美さんは運営委員です。下川は協議会事務局となります。

開催県でありながらブロック事業の役もあたっておりますので、今後女性委員の増員が必要となってきます。



会議風景

■ 若狭ブロック会議 第2分科会

「子育て世代バリアフリー」に参加して

河内美代子

男性も参加の第2分科会。私はしばらくブロック会議に参加していなかったのですが、このような形式は新鮮だった。

初めに石川県が取り組んできた流れの説明がパワーポイントを利用して行われた。

まず、TOTO やシステムからの提案や事故例などを聞いて勉強した後、施設見学に臨み、施設検証を行い、そして最終章として「日本海・子育て 支援メッセ」にブースを出展し、さらに其処で多くの来場者からヒントも貰ったことの報告があった。また会場でアンケートを実施した結果報告や、今後に向けては子供たちへのバリアフリー教育の必要性や企業・行政への提案の必要性を感じたことなどが報告された。

その後、参加者が子育てのベテラン、現役と予備軍という3グループに分かれてグループディスカッションした。トイレや授乳室利用に関する意見が多く出され、ベテランからは私たちの子育て中はもっと大変だったとか、我慢したとかと言った意見も出されたり、現役パパからは授乳室でミルクをやれないので困ると言った笑えない意見も出された。

しかし意見を言わない限り、気付かず改善されないことも事実であり、提言していくことの大切さを再確認した分科会であった。

そして昨年6月からわずか9か月余りの取組とは思われないまとめ方に、おおいに感心させられた。



ワークショップ風景



委員会だより

■ 第3分科会

三丁町のまちなみ散策に参加して

長瀬八州余

青年と一緒にバスで小浜公園へ向かいます。第3分科会の参加者は約50名です。3班に分かれて地元のボランティアガイドさんに案内をしていただきます。

三丁町(さんちょうまち)とは小浜市の小浜香取地区にある江戸時代に栄えた遊郭で、今も古い家並みが残っている地域です。福井県内に残るかず少ない花街であり、今も芸妓さんを抱えている料亭もあるということです。

町並みは小浜西組として国の重要伝統的建造物保存地区に選定され(平成20年6月10日選定)、伝統ある町並みの保護と活用が進められています。

今回内部見学が3ヶ所計画してありました。



小浜公園にてボランティアガイドさんより説明を受ける

佐竹邸

大正13年に建てられた住宅を改修したもので、通りに面した外観は繊細な格子とベンガラ色でデザインされて伝統的な町並みに添っていました。

内部は京都の町屋のような平面で、コンパクトでもすぐく住みやすい作りになっていました。2階へ続く階段は箱階段になっていました。

持ち主は関西の方にお住まいで年に数回しか帰ってみえないと言うことで、今回内部まで見学することができました。平成16年度『小浜まち景観賞優秀賞』の建物です。

蓬嶋楼

明治・大正・昭和期の建物。母屋数棟、離れ、茶室、塀、門がある。

茶屋・元蓬嶋楼で当時使われていた調度品(扁額、掛け軸等)が飾られています。

階段も2ヶ所あり、床の段差もいろいろあり、部屋が入り組んでいて迷子になりそうでした。



町並みと食の館 旧酔月

明治初期に建てられた茶屋町の中核的な料亭であった「酔月」が小浜市に寄付されたことから、地域の活性化と環境に調和したまちづくりを進めるために整備されて、伝統的建築物の内部を鑑賞しながら、若狭小浜ならではの海の幸山の幸を食することができるようになっています。

私たちが見学した時はひな祭りの展示が各部屋にされていました。それに小浜商工会議所女性会の方がひなあられと甘酒の接待をして下さいました。美味しかったです。ありがとうございました。



建物前で小浜市公認キャラクター「さばトラななちゃん」のお出迎えがありました。



委員会だより

■ 萬徳寺見学+お箸作り体験

長瀬八州余

2日目の2月28日(日) 朝は雨が降っていたのですが、出かける頃には雨も上がり、移動しやすい天気になりました。今回会場への移動は岐阜県青年委員の方の車に乗せていただき、本当にありがたかったです。ありがとうございました。

現地集合で萬徳寺に集まり見学会が始まります。

廊下に座って、ご住職からお寺の説明を伺いました。

高野山真言宗萬徳寺で国指定名勝庭園と重要文化財3点が所蔵されています。

平成17年～20年の3カ年で改修工事をおこなったと言うことできれいになっています。釘隠などは金のメッキがきれいです。床下には仕口ダンパー(制震補強装置)が施されているのを見ることができました。



ご住職より説明を受ける



庭園の季節外れのつつじ

■ 研修会(講演会) サクラヒルズにて

日時:平成22年3月25日(木) 12:30~15:00

会場:迎賓館サクラヒルズ

川上別荘内 レストラン「プチバトー」

(各務原市鶯 沼宝積寺3-82-2

電話058-384-0700)

12:30~13:30 昼食

13:40~15:00 講演会

テーマ「フランク・ロイド・ライトについて」

講師:河野敏春氏 (社)岐阜県建築士会 副会長

15:10~15:40 女性委員会

参加者:16名



講演会風景

■ 講演会

宇佐美泉

美しい桜と木曽川の流れを一望できる、各務原市内の川上別荘内レストランプチバトーで、とてもおいしい昼食を済ませた後、委員会のメンバーを含む16名で「フランク・ロイド・ライト」について話を聞きました。

講師には副会長の河野敏春氏をお招きしました。

ライトは、素晴らしい建築家だったかどうか検証していくという内容で、通常ならライトの残した数々の名建築物を振り返り、改めて偉大な建築家であったというストーリーなのですが、今回はライトの著書や言い伝えられている人物像等から検証してみるという、とても面白い発想の講演会で、楽しく聞くことができました。

河野氏が最後に、「建築は、自己満足だけではだめだ。耳を傾けて話を聞き、職人を大事にしてほしい」と言われた言葉が、心に残りました。



■ 東海北陸ブロック会

女性建築士協議会

運営委員長に就任するにあたって

河内美代子

この大役が、順番どおりに平成 22 年に岐阜県に回ってくることは、ブロック会議がある都度、念を押されていたので承知してはいたものの、本当に私がやるのかしらと漠然とした楽観主義で臨んだ後期のブロック会議でした。そしてブロック会議初日に開催された定例会議で、次期役員が淡々と承認され、私の名前も読み上げられ、やはりやるのだなとようやく自覚した次第です。

そしてお引き受けした以上、今まで以上に女性建築士の意見交換や情報交換がしやすい場になることを目指して、努力を惜しまずに尽力するつもりではいます。

しかしながら「長」と言っても 1 人では何も出来ません。事務局を引き受けてくださった下川さんはもちろんのこと、全員協力体制のバックアップをよろしく願います。

私の唯一の得意分野は懇親会でお酒が対等に飲めることぐらいですので・・・(苦笑)。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。

■ 編集後記

26号をお届けします。

24号までは年3回発行しておりましたが、ホームページへのアップも早くなり、いち早く行事等の報告がおこなわれるようになりました。それを受けて前回の25号からは、年2回の発行ということになりました。

一応、らくだの内容としましては年度の前期・後期の活動報告ということになるかと思えます。

今回から書式も少し変えてみました。いかがでしょうか。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。また、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

(HPアドレスが4月より新しくなりました)

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します



東海北陸ブロック会若狭大会閉会式にて、前運営委員長の西田氏よりバトンと受けて新運営委員長としてあいさつ

